



レジャー・ダイバーも参加 恩納村海域でのサンゴ再生活動

【チーム美らサンゴ】 www.tyurasango.com

2012年11月

「第32回全国豊かな海づくり大会」
漁場・環境保全部門にて
農林水産大臣賞受賞!

サンゴ記念植え付け
実施団体に認定!

チーム美らサンゴとは?

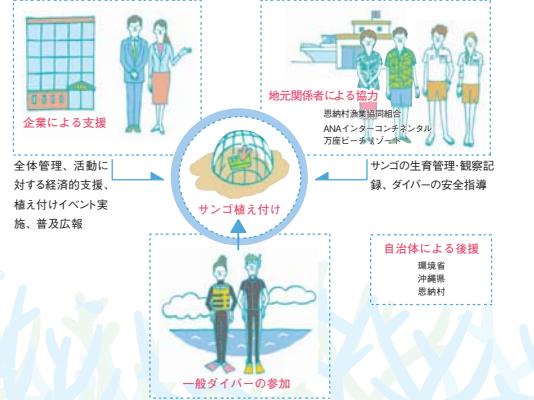
沖縄県恩納村で、サンゴ苗の植え付け活動を通じて、一般ダイバーにサンゴ礁の生態系の再生の一端を担ってもらうこと、そして、沖縄の海で起こっている変化を見て「美ら海を大切にする心」を多くの人に広げていくことを目的としたサンゴ再生プログラムです。2004年沖縄県内外の企業が集まって結成されたチーム美らサンゴは、一般ダイバーの植え付け活動に対する経済的支援や対外的な普及を中心に、恩納村漁業協同組合をはじめとする地元関係者の協力のもと、環境省、沖縄県、恩納村など行政の後援も得ながら活動を展開しています。

チーム美らサンゴ2012 参加団体一覧



後援=環境省、沖縄県、恩納村／協力=恩納村漁業協同組合、ANAインターコンチネンタル万座ビーチリゾート、NPO法人OSI(沖縄環境・観光産業)研究会

自治体・地域住民・企業によるサンゴ保全活動



植え付け活動

年4回程度、春と秋に広く一般から参加者を募り、サンゴの植え付けを実施しています。

また、地元関係者による植え付けも行い、試行錯誤を繰り返しながら、サンゴの生育に適した場所や時期、種類の見極めに努めています。

①植え付け場所



沖縄本島の恩納村海域です。かつてこの辺り一帯は、目を見張るほどにすばらしいサンゴ礁の海でした。しかし、オニヒトデの食害や海水温の上昇は、この海域のサンゴ礁にも漸減的な打撃を与えました。そうした事態にいち早く積極的に取り組み始めた恩納村漁協の指導を受ながら、チームは活動をしています。チームがおもに活動しているのは、万座溝内です。

②植え付け方法



水深3mほどの岩にあらかじめ設置されたボルトの周辺をフレジで掠り、台座に固定されたサンゴ苗を置いて、固定用のネジを締めます。さらにこの後、魚やオニヒトデからの食害を防ぐためのカゴをかぶせます。チーム発足当初からさまざまな試行錯誤を経て、現在は1つのカゴに複数株を植え付ける「寄せ植え」を行っています。こうすることで、サンゴが融合して成長が早くなります(融合は同じ親株のものに限る)。

③サンゴの種類



植え付けに使用するサンゴは、ミドリイシ類を中心として、ショウガサンゴ、コモサンゴ、チビアザミサンゴなど約20種類です。サンゴの種類や植え付け時期などによって、成長するスピードが異なるため、その時々で植え付ける種類を変えています。単一種のサンゴで成長させるのではなく、かつてのサンゴ礁のバランスを取り戻すことを目標としています。

④サンゴの養殖



植え付け用のサンゴの苗は、恩納村漁協が、恩納村の海域に生息するサンゴをドナーとして採取し、陸上施設で養殖したものを植え付け用にした大きさにして準備しています。採取は、沖縄県漁業調整規則に基づき、1999年に特別採捕許可を得て行いました。

⑤植え付け後の管理



サンゴの苗は、植え付けた岩ごとに成長が管理されています。アルファベットの記号を付けたフレートを目にし、定期的に苗の生存個体数を確認しています。モニタリングは地元関係者にて行い、カゴに付着した藻の除去やオニヒトデ駆除などを実施しています。

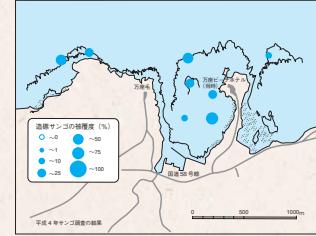
⑥これまでの成果



2004年から2011年まで、ダイバーは延べ1,395人、苗作りを行なうノンダイバープログラムには449人が参加し、植え付けたサンゴ苗は2,117本です。植え付けたサンゴの生存率は概ね5割程度で推移しています。そして、2005年B岩に植え付けたウエダミリイシが、2009年6月10日の夜に産卵したことがダイビングセンターのスタッフにより目撃されました。2012年6月9日にも、植え付けたサンゴの産卵が確認されました。

⑦今後の課題

チームとしての活動は来年10年目を迎えます。植え付けについて試行錯誤を重ねた結果、現在はおおむね手法が確立し、一般ダイバーを募って実施している植え付けイベントもダイバーで2本の苗の植え付けというスタイルが定着しています。これまで2,000本を超える苗を植え付け、植え付けたサンゴが産卵するに至るなどぐんぐんながら着実な成果につながっています。活動の輪をさらに広げていくこと、活動に対する評価を確立することが今後の課題です。



その他の活動

①ノンダイバープログラム



2006年からは、ダイバー以外のかたも参加できるプログラムを設けています。漁協のサンゴ養殖施設の見学、サンゴ苗作り、海中展望船での水中観察、スノーケリングでダイバーの植え付けを観察するプログラムです。

②啓発活動

沖縄県内外にて、サンゴに関するシンポジウムやイベントを開催し、より多くの人がサンゴや美ら海に親しみ、「自然環境を大切にしたい」と感じていただききっかけを作っています。2010年には、サンゴの植え付け用の台座に、都内の小学生にメッセージを書いてもらい、その台座を使って地元恩納村の子供たちが苗作りをするなど、チーム発足以降継続的な取り組みを通して、地域を超えたつながりも生まれています。

③美らサンゴまつり



恩納村の小学生や地域のかたがたにも、チームの活動を知っていただきためのイベントを開催しています。2012年10月21日にはANAインターコンチネンタル万座ビーチリゾートにて、さかなクンを招いてのクイズやトークショーを実施しました。

④コーラルフォトコンテスト



2009年から誰でも参加できるフォトコンテストを開催しています。「サンゴ」「サンゴ礁の生き物」「海辺の風景」「沖縄」「サンゴを取り巻く人々」の5部門で、大人から子供まで、沖縄で出会った感動のシーンを多数ご応募いただいています。